

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 8月16日 更新

事務事業名		下水道事業会計繰出金支出事務				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	4	生活環境の健康			所属部	都市建設部	課長名	坂本 強
	施 策	20	水の安定供給と排水の浄化			所属課	都市計画課	担当者名	大塚 裕貴
	施策の柱	61	排水の浄化			所属班	都市計画班	(内線)	5264
予算科目		会計一般	款 8	項 4	目 4	事業連番 10174	根拠法令		
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市水道局上下水道課の請求に伴い、繰出金の支出事務を行う。 平成27年度から下水道事業等が企業会計化された。
【業務の流れ】	請求書受領、支出負担行為兼支出命令書の起票
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金、投資及び出資金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
下水道特別会計の適正な運営に資するため、一般会計からの繰り出し金を適正に処理した。(請求書受領、支出負担行為兼支出命令書起票)		請求書受領、支出負担行為兼支出命令書の起票	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ ア 繰出金の支出		件	汚水処理に要する経費の減に伴う投資及び出資金の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
下水道事業会計繰出金		⇒ ア 繰出金の支出	件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
公共下水道事業や農業集落排水事業の運営のため、一般会計から下水道事業会計への繰出金の支出を行う		⇒ ア 繰出金の額	千円
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠 繰出金が確実に支出されたことを確認する			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移											
		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標	ア	件	3	3	3	3	3	3	3	3	
	イ										
② 対象指標	ア	件	3	3	3	3	3	3	0	0	
	イ										
③ 成果指標	ア	千円	581,000	581,000	581,000	581,000	530,000	530,000	530,000	530,000	
	イ										
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	581,000	581,000	581,000	581,000	530,000	530,000	530,000	530,000
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	581,000	581,000	581,000	581,000	530,000	530,000	530,000	530,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外・特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	20	15	15	20	15	15	15	0
		(B) 人件費計	千円	78	57	59	72	59	59	59	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	581,078	581,057	581,059	581,072	530,059	530,059	530,059	530,000	

事務事業名	下水道事業会計繰出金支出事務	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度的事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒ 【理由】
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり ⇒ 【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策】 事務事業の内容は繰出金の支出のみであるため、目標達成の見込みはある。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒ 【理由】 事務事業の内容は繰出金の支出のみであるため、成果向上の余地はない。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ⇒ 【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒ 【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ 【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ 【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】 公共下水道事業や農業集落排水事業の運営内容による。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】 繰出金の支払い事務のみのため、削減余地がない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒ 【理由】 下水道事業に関しては受益者負担となっており、公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒ 【理由】 公共下水道と農業集落排水事業については、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、公共用水域の水質の保全に資するため、県または市で運営している。

3 評価結果の総括（CHECK）

繰出金の支出事務を行なった。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								